

## 榎原記念病院の取り組み

### 心臓を守る健康教室シリーズ

東京都民に対する循環器病の知識の普及啓発、健康寿命の延伸、QOLの改善等を目的に、以下の疾患啓発活動に取り組んでいます。

2025年度

- 親子教室 7月27日(日) 開催しました
- 運動教室 10月17日(金) 開催しました
- 運動教室 11月22日(土) 開催しました
- お薬教室 1月17日(土) 開催予定



### 医療従事者向けセミナー

#### 神明台ハートセミナー

全国から専門の医師を招き、循環器診療のトピックスに関する講演を行っています。

原則、毎月第3金曜日 19:30～21:00

#### 神明台循環器疾患連絡協議会

当院の医師による、日常診療に役立つレクチャー、活動報告を行います。

年4回開催

#### 小児・周産期webinarシリーズ

全国の小児循環器医師(内科・外科・放射線科)、産婦人科医師、先天性心疾患診療医師及びメディカルスタッフを対象に教育的なライブ講演を提供しています。



#### 1 ボストン小児病院・榎原記念病院共催 小児循環器病 webinarシリーズ

毎月第3木曜日 19:00～20:00 —。過去開催分はオンデマンド配信で一般公開中

#### 2 基礎から始める胎児心エコー webinarシリーズ

毎月第4水曜日 19:20～20:00

講師 | 榎原記念病院 小児循環器内科 副部長 浜道 裕二



### 心臓病総合相談窓口のご案内

心臓病総合支援センターでは、心臓・血管病を持つ患者とご家族が安心して療養・生活できるように、皆さまからのメール相談をお受けしています。心臓・血管病の診療や支援に豊富な知識と経験を持つ専門スタッフが対応します。



## 公益財団法人 榎原記念財団 附属 榎原記念病院

〒183-0003 東京都府中市朝日町3-16-1

代表電話 TEL 042-314-3111

医療連携室  
(医療機関専用)

TEL 042-314-3142 (平日8:30～17:15)  
FAX 042-314-3199



2025.12\_Heart to Heart\_vol.10

# Heart to Heart

SAKAKIBARA  
HEART INSTITUTE  
NEWS LETTER



公益財団法人 榎原記念財団  
附属 榎原記念病院  
SAKAKIBARA HEART INSTITUTE

2025.12

vol.10

### 特集 小児・周産期診療部の取り組み

小児・周産期診療部は、先天性心疾患を中心とした診療を「ひとつのチーム」として診療するための体制として2025年4月から新たに始まりました。

「胎児から成人まで縦に長くつながる診療」を実践し、病院全体で一致団結しながら最善な医療を提供しています。患者さんとご家族の立場に寄り添いながら、患者さんがより良い生活を過ごせる様にともに歩んでいきます。私たちは地域・東京そして日本の中心施設として、先天性心疾患の患者さんを守るチーム医療を心に刻みながら、これまでもそしてこれからも進んでゆきます。



小児・周産期診療部長  
松井彦郎



小児・周産期診療部 2025年4月

## 診療体制紹介

当院の小児・周産期診療部は、循環器専門病院としての強みを活かし、「胎児期から成人期まで、切れ目のない医療」を実現しています。小児循環器内科・小児心臓血管外科・産婦人科が中心となり、集中治療科・麻酔科・成人循環器内科・成人心臓血管外科や多職種のメディカルスタッフが一体となったチーム医療体制を構築しています。

1. 24時間体制での診療・手術対応
2. 専門医修練施設\*として、高度な専門性を持つ医療チーム
3. 年間300件以上の手術実績、500件以上の心臓カテーテルを行う豊富な先天性心疾患症例
4. 胎児心臓診断から成人先天性心疾患まで、一生涯にわたる一貫した診療
5. 専門分野（胎児心臓病・先天性心疾患カテーテル治療・小児不整脈治療・成人先天性疾患など）に特化した医師による診療と連携

\*・日本成人先天性心疾患学会認定 成人先天性心疾患専門医 総合修練施設  
・日本小児循環器学会認定 小児循環器専門医 修練施設



## 主な対象疾患と治療

胎児から成人まで、先天性心疾患を中心とした、あらゆる小児循環器疾患に対応します。「胎児スクリーニングで心臓がはっきりしない」「生後に心雜音・チアノーゼ・多呼吸がある」「不整脈がある」「疲れやすい・動悸・失神」などの心疾患を疑う事があれば、ご相談・ご紹介ください。

### 胎児期・小児期の先天性心疾患

豊富な症例数と経験により、極めて稀な症例の診療も適切に対応します。出生前診断により胎児期に判明した場合でも、正確な情報と適切な準備で最適な治療を提供します。

### 小児期の不整脈

小児循環器診療の中でも、極めて専門的な知識と技術が必要な小児期の不整脈の診断と治療を日常的に行っています。さらに成人不整脈チームと協力して、最先端の治療法を率先して小児で導入しています。

### 心筋症

生まれつきに心筋構造・機能に異常をきたす心筋症も診療します。特に、心筋が極めて厚くなる肥大型心筋症は、肥大型心筋症センターと協力して、様々な治療を行います。

### ACHD ピアサロン

循環器疾患に関する知識の普及啓発活動の一環として、先天性心疾患をお持ちの患者さん（主に中学生～大学生）とご家族を対象に、ピアサロンを開催しています。同じ立場の仲間（peer）との交流を通じて、自分の病気や治療について理解を深めています。

### 成人期の先天性心疾患

小児期に手術などを行った患者さんも、多くが成人期に達して普通に日常を過ごしています。しかし、弁の狭窄・逆流や心機能の低下など、心臓に課題を残している方も少なくありません。成人先天性心疾患センターが中心となって、成人に達した先天性心疾患の皆さんのがんの診療を行っています。



成人先天性心疾患センター  
センター長  
**矢崎 諭**



成人先天性心疾患センター  
副センター長  
**木島 康文**

### 患者さんのご紹介について

胎児・小児で心疾患が気になりましたら、いつでもご紹介ください。

### 問い合わせ窓口

医療連携室 受付時間（平日8:30～17:15）

**TEL 042-314-3142 / FAX 042-314-3199**

※緊急症例は24時間受け入れ可能です。紹介状をご用意の上、事前にご連絡ください。  
セカンドオピニオンのご相談も承っています。

## チーム医療で実現する《低侵襲化》へのこだわり

当院では、「手術を受ける子どもたちの《低侵襲化》を第一に考える」ことを基本方針としています。これは単に傷を小さくするだけでなく、体外循環時間の短縮、手術・麻酔時間の短縮、そして最適なタイミングでの治療介入という、総合的な取り組みです。この《低侵襲化》を実現するためには、小児心臓外科医だけでなく、小児循環器内科医、麻酔科医、臨床工学技士、看護師など、すべてのスタッフがスムーズでスピーディーな連携を行う必要があります。これこそが、私たちが目指す「本当の意味でのチーム医療」です。術前の状態改善から手術、そして術後管理まで、多職種が緊密に連携し、患者さん一人ひとりに最良の医療を提供しています。



## 胎児期から成人期まで、切れ目のない医療

## STEP 01

小児循環器内科・小児心臓血管外科・産婦人科が一体となって、胎児期からの一貫した医療体制を構築しています。胎児心臓診療の専門家が胎児心エコーで正確に評価し、心疾患の場合でも、出生前から説明・治療計画立案・準備・安全な分娩管理を行い、そして出生直後から小児期までシームレスな医療を提供しています。

## STEP 02

治療がひと段落しても安心して生活できるように、定期的なフォローと青年期・成人期への移行期医療を御家族と共に培っていきます。

## STEP 03

そして、小児期に手術を受けた患者さんが成人期に達した後も、当院の成人循環器内科・心臓血管外科と連携し、生涯にわたるフォローアップを行います。

## TOPIC

先天性心疾患の成人への  
移行期医療とは

先天性心疾患の成人への移行期医療には、患者の自立と成人期医療体制への移行を含みます。小児期から成人期への移行だけでなく、生涯医療の一環として考える必要があります。患者自らが疾患と治療を理解し自立するための教育、小児専門施設から成人患者に対応した診療施設での多職種協働による医療提供などが必要です。食生活や運動など適切なセルフケア行動について、避妊や妊娠について、学生生活や就労に関する事など、患者自身の意思決定支援を行います。



## 増加する“成人”先天性心疾患患者さん

外科手術の発達により、先天性心疾患患者さんの約95%が成人期に至るようになり、2025年現在、本邦には約65万人の成人先天性心疾患患者さんがおり、今後も年間約1万人のスピードで増加が見込まれています。成人先天性心疾患の患者さんでは、幼少期に手術（心内修復術）を受けて、成長し明らかな症状がなくても一般成人より運動耐容能が低下していることがあります。かつて根治術と呼称していた手術は現在では心内修復術と呼称され、心不全、不整脈、感染性心内膜炎などの術後遠隔期の遺残症や合併症に注意が必要と考えられています。つまり、心疾患として根治されているのではないと考えられるようになっています。そして、遠隔期の治療においては、薬物治療だけでなく、再手術やカテーテル治療などが必要となることも少なくありません。

## ご紹介のタイミングについて

先天性心疾患には、\*\*軽症、中等症、重症(複雑)\*\*の3段階の重症度分類があります。

| 重症度 | 代表的な疾患例                        | 専門医受診の推奨頻度                           |
|-----|--------------------------------|--------------------------------------|
| 軽症  | 心房中隔欠損、心室中隔欠損などの単純な短絡疾患        | 循環器内科医による年間約1回の診察が推奨                 |
| 中等症 | 房室中隔欠損、ファロー四徴症など               | 成人先天性心疾患専門医による6ヶ月～1年に1回以上の診察が推奨      |
| 重症  | Fontan術後(単心室)、Eisenmenger症候群など | 成人先天性心疾患専門医による3ヶ月ごと、またはそれ以上に頻繁な診察が推奨 |

中等症以上 の疾患有している患者さんは、専門医の定期診察により緊急入院の頻度が下がると考えられています。先天性心疾患の患者さんが専門医の定期診察を受けていない場合は、ぜひ当院外来へのご紹介をご検討ください。

## ONE POINT LECTURE

開業医の方へ  
日常診療での  
注意事項

成人先天性心疾患センター  
副センター長／循環器内科 部長  
木島 康文

## ✓ 経皮的酸素飽和度(SpO2)

疾患重症度が中等度以上の患者さんは普段からSpO2が低い方がいます。患者さんご自身が普段の飽和度を認識している場合もありますので、確認してください。

## ✓ 血圧の左右差

幼少期の心内修復術のタイプによっては、左右の上肢で血圧の左右差を認める場合があります。

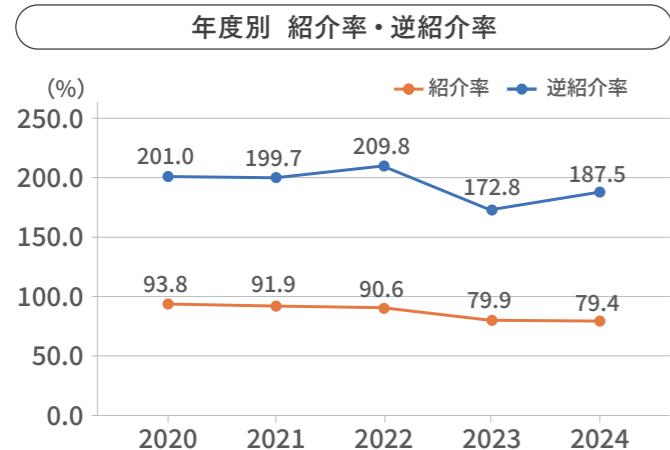
症状が顕著ではないのに血圧が低い場合は、対側の血圧も確認しましょう。高い方の血圧が体血圧と考えられます。

地域の先生方との連携を密にし、成人先天性心疾患患者さんの適切な診療に努めてまいります。ご紹介、ご相談を心よりお待ち申し上げます。

# 医療連携情報

## ●原則紹介制／逆紹介の推進

診療を希望される場合は、かかりつけ医の診療情報提供をお願いします。専門治療終了後は、速やかにかかりつけ医に逆紹介します。



## ●緊急の場合

緊急かどうか迷う時は、当番の医師が対応しますので、電話で「救急の相談」の旨をご連絡ください。



## ●モービルCCU(高規格ドクターカー)

診療所の先生に同乗いただく必要なく、治療を引き継ぎます。片道30分圏内の医療機関からの救急要請に応じ、搬送中から救急車内での早期治療が可能です。

### 通常装備

12誘導心電図、除細動器、気管挿管物品、経皮的ペースメーカ、携帯型心エコー装置、心血管作動薬

### 装備可能な機器

ECMO(PCPS=経皮的心肺補助装置)、大動脈バルーンパンピング(IABP)、人工呼吸器、非侵襲的陽圧換気装置(NPPV)、補助循環デバイス(IMPELLA)

## ●ファストエコー

心臓について、ちょっと気になる、念のために確認しておきたい時は、ファストエコーをご利用ください。外来医の診察なく、検査のみ、実施します。結果は、専門医が読影し、コメントを加えて報告します。診察予約は不要です。

### お申込み

申込書(兼診療情報提供書)をダウンロードいただき、お申し込みください。

### ファストエコーサービスの流れ

- ① かかりつけ医より依頼書(診療情報提供書)をFAXまたはメールで連携室に送付
- ② 連携室より予約表をかかりつけ医にFAXで送付
- ③ 検査当日 初診手続き
- ④ 心エコー検査
- ⑤ 会計
- ⑥ 検査結果:1週間以内にFAXで  
かかりつけ医に送付(2部)

## ●登録医

登録医の先生方には、以下のようなご対応をしています。

- 登録医証の発行
- 神明台ハートセミナーのご案内
- 高額医療機器の共同利用としてCT利用
- 広報誌の発送
- 定期的な外来担当医表の発送
- 新たなサービスに関する優先的なご案内

### お申込み

一 北多摩南部医療圏の医師会に所属している先生  
各医師会を通じてお申込みください。

一 上記以外の先生

医療連携室: TEL **042-314-3142**  
(平日9:00~17:00)

## ●新設外来の紹介

### 結合組織病外来

2025年4月より結合組織病外来を開始しました。

#### 診察日

第2・第4木曜日 午後

#### 担当医

心臓血管外科 結合組織病担当医

#### 対象疾患

マルファン症候群、ロイス・ディーツ症候群、エーラス・ダンロス症候群などの遺伝性結合組織疾患を対象とします。大動脈瘤や大動脈解離のリスクが高い患者、または既に治療を受けられた方の長期フォローアップも行います。

#### 紹介基準

- ① 結合組織疾患の診断がついている
- ② 家族歴や身体的特徴から結合組織疾患が疑われる
- ③ 若年性の大動脈疾患(50歳未満)

#### 診察内容

専門的な遺伝カウンセリング、画像診断による大血管評価、適切な治療法の選択と予防的介入、家族スクリーニングの提案などを行います。必要に応じて遺伝子検査も実施します。

### 胎児心エコー外来(榎原記念病院付属クリニック)

2025年7月より附属クリニックで胎児心エコー外来を開始しました。胎児の心臓を観察するには、高度な技術と診断能力が必要ですが、附属クリニックでは胎児心臓診療を専門とする医師が対応します。胎児心エコーを受診する週数は、18~34週頃までが観察しやすいとされています。かかりつけ医からの紹介だけでなく、どなたでもお問合せください。

#### 診察日

第2・4木曜日 午後

#### 担当医

小児循環器内科 主任部長 松井 彦郎

予約フォーム



#### お問合せ

TEL **0570-00-5277**

または予約フォーム(QR)よりお問合せください。



## お問合せ

### ▶ 患者さんご紹介、医療連携に関するお問合せ

医療機関専用(医療連携室直通): TEL 042-314-3142(平日8:30~17:15) / FAX 042-314-3199

### ▶ 緊急の場合のご相談

直接、お電話でご相談ください。  
TEL 042-314-3111(代表) ※モービルCCU要請(平日8:30~16:00)

### ▶ 産婦人科セミオーブンシステムに関するお問合せ

医療連携室: TEL 042-314-3142(平日8:30~17:15)

### ▶ 各種申込用紙

ホームページからダウンロードしてご利用ください。  
外来予約申込み / ファストエコー申込み / セカンドオピニオン申込み / NIPT予約・紹介状